

平成 30 年～令和 5 年

# 東京電子健保第 2 期データヘルス計画

第 2 期データヘルス計画（平成 30 年～令和 5 年）では、健診結果や医療費情報（レセプト）を有効活用して保健事業の効果を高め、加入員の皆さまの疾病予防・重症化予防に努めます。

また、事業を効率的に実施するために事業主さまと協働（コラボヘルス）により、実行性を高めていきます。

## 1. 健診の推進

- ・生活習慣病の予防・早期発見を目的に簡易生活習慣病予防健診、生活習慣病予防健診、1 日人間ドック、各種がん健診を実施します。
- ・長期の未受診者に対し、受診勧奨を実施します。
- ・契約健診機関を拡充し、受診環境の向上を図ります。

令和 5 年度の目標

被保険者の受診率 **92%**

被扶養者の受診率 **42%**

## 2. 特定健診の受診促進

- ・40～74 歳を対象とした特定健診（メタボ健診）については、生活習慣病予防健診や 1 日人間ドックに含んで実施します。
- ・事業主が実施する事業主健診の健診結果を入手し、可能なかぎり実態把握に努めます。

令和 5 年度の目標

特定健診の受診率 **85%**

## 3. 特定保健指導の利用促進

- ・特定保健指導該当者には、生活習慣病のリスクをわかりやすく説明した利用案内書と保健指導をわかりやすく説明したリーフレットを配付し、特定保健指導の重要性を伝え、利用促進に努めます。
- ・40 歳未満のメタボ予備群に対し、早期からの生活習慣病予防に取り組めます。

令和 5 年度の目標

特定保健指導の受診率 **30%**

## 4. 健康イベントの開催

- ・健康づくりのサポートとして、健康ハイキング（潮干狩り）や健康ウォーキング、Web ウォーキングチャレンジを実施します。

令和 5 年度の目標

健康ハイキングの参加者数 **500 名**

健康ウォーキングの参加者数 **500 名**

## 5. コラボヘルスの推進

- ・事業を効果的・効率的に進めるには事業主との協働（コラボヘルス）が重要であることから、従業員の生活習慣や疾病リスクの傾向などを「見える化」し、健康課題の情報を提供します。
- ・分析結果から、生活習慣の改善が急務な加入員に対してはフィードバックを行いさまざまな働きかけやアドバイスを行います。

令和 5 年度の目標

コラボヘルスの事業所数 **60** 事業所